

事業番号	02 10 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）			□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	移住・交流推進事業費	部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課			
		実施期間	H15 ～	E-mail	iju@pref.nagano.lg.jp			

## 1 現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、暮らし方や働き方の意識に変化が生じ、地方回帰の機運が高まっていることから、長野県への移住者数も6年間で約1.7倍（H27年度:1,758人⇒R3年度:2,960人）と増加傾向にある。

これを好機と捉え、特に首都圏の若い世代の地方への関心が高いことから、市町村や関係部局と連携し、「若者・子育て世代」に訴求する取組を実施していく必要がある。

## 2 事業目的

「若者・子育て世代」にターゲットをおき、移住に加え、移住に限らない多様な関わり方で長野県とつながる人を増やし、更なる移住・二地域居住や関係人口の拡大を推進することで、地域の活性化や活力創出を図る。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①移住相談窓口の運営

- ・地方移住検討者を長野県に引き寄せるため、地方移住の相談拠点として機能するNPO法人ふるさと回帰支援センターと連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進
- ・三大都市圏及び県庁でのきめ細かな相談に応じるため「信州暮らし案内人」を配置

### ②信州で暮らす魅力の情報発信

- ・移住に関する包括サイトを運営し、長野県の仕事と暮らしを総合発信

### ③信州で「暮らす」「働く」「つながる」イベントの開催

- ・市町村や民間企業と連携し、長野県の仕事と暮らしをセットで相談できる移住相談会・セミナーを開催
- ・空き家DIY等のイベントを通じ、都市圏住民等と県内地域をつなぐプログラムを実施
- ・【新】首都圏の人材を長野県内の地域資源（ヒト・コト・モノ）につなげる案内人を銀座NAGANOに配置し、マッチングイベントを開催

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	移住相談件数	件	2,453	2,980	↗	3,617	↗	3,800	△	三大都市圏及び県庁でのきめ細やかな相談対応により、R4見込み相談件数から5%以上増加することを目指す	
②	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」のアクセス件数	件	78,195	159,963	↗	集計中 (4月頃判明)	—	160,000	△	信州で「暮らす」「働く」「つながる」魅力を発信する記事コンテンツを制作し、R3以上のアクセス件数を目指す	
③	移住イベント（相談会・フェア）参加者数	人	687	772	↗	789	↗	810	△	魅力的なテーマの設定や、県内企業への就職相談ができる移住フェア等を開催することで、直近の伸び率2.2%を踏まえた参加者数を目標とする	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	移住者数	人	2019 (R1)	2,323	2020 (R2)	2,426	2021 (R3)	2,960	2027 (R9)	4,500

## 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		53,105		53,105	41,896	6.0
	(要求)		53,405		53,405	41,896	
R4年度	0	61,428	0	61,428	50,844	6.0	
R3年度	0	61,863	0	61,863	51,683	58,068	6.0
予算要求からの 主な変更点	信州つながりマッチング事業について、R5年度事業を実施する中で効果的な手法を検討することとし、補助金の予算計上を見送り						

事業番号	02 10 01	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	<b>移住・交流推進事業費</b>		部局	企画振興部	課・室	信州暮らし推進課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	<b>移住・交流推進事業費</b>		61,863 千円	61,428 千円	(予算案) 53,105 (要求) 53,405 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏（東京・名古屋・大阪）及び県庁に、総合的な移住相談窓口を設置し、それぞれに相談員（信州暮らし案内人）を配置 相談員の配置4名（東京・名古屋・大阪・県庁）		
2	NPO法人ふるさと回帰支援センター（東京・大阪）との連携	委託	地方移住の相談拠点として機能するNPO法人と連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進 ・東京：相談員2名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置 ・大阪：資料ブースの設置、出張相談の実施 相談員の配置2名（東京）		
3	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	委託	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」を中心に、長野県で「暮らす」「働く」「つながる」といったライフ・ワークスタイルに関する記事コンテンツを制作するとともに、SNSを活用した情報発信を実施 記事コンテンツ制作数15件予定		
4	共創人口構築事業	委託	県内自治体で、空き家DIYイベント等を通じて、都市部住民等と地域とが交流し、共に創る（共創）プロセスの中で生まれる強い地域とのつながりを持つ関係人口の創出・拡大を推進 プログラム実施地域2箇所予定		
5	信州つながりマッチング事業	委託	【新】首都圏の人材を長野県内の地域資源（ヒト・コト・モノ）につなげる案内人を銀座NAGANOに配置するとともに、マッチングイベント等を開催 イベント開催数10回		
6	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	負担金	県、市町村、民間事業者が参画する協議会において、オール信州による移住等の取組を展開（移住セミナー・相談会の開催、各種フェアへの参加、移住者交流会の開催、移住者捕捉のための取組など、移住関連の事業を総合的に実施） 移住セミナー開催回数16回、移住者交流会開催4回予定		